



「国際的スパム執行協力に関する
ロンドン行動計画」について

国際機関等におけるスパム（迷惑メール）に関する議論の動向

OECD（経済協力開発機構）

- 平成16年 2月 第1回「スパムに関するワークショップ」（ブリュッセル）
- ・ スパムが世界規模で問題となっていること、多面的な対策が必要であることの認識を共有
- 7月 「スパムタスクフォース」設置
- ・ 各種ワークショップとメンバー限定用電子掲示板を通じて議論
 - ・ 法令、技術等多面的（包括的）なスパム対策の取りまとめが目的
- 9月 第2回「スパムに関するワークショップ」（釜山）
- ・ 第1回会合で議論された対策の具体的方策を議論
- 10月 「スパム対策執行に関するワークショップ」（ロンドン）
- ・ 7月にスパム対策執行MOUを締結した米・英・豪を中心に、執行面に焦点を当てて議論

ITU（国際電気通信連合）

- 平成16年 7月 WSIS（世界情報サミット） スパム対策に関するテーマ会合
- ・ スパムが世界規模で問題となっていること、多面的な対策が必要であることの認識を共有
 - ・ 豪・韓、米・英・豪を先例としたMOU（覚書）の締結等による国際協調の必要性を確認
- 12月 「規制機関による国際シンポジウム」
- ・ 各国規制機関によるスパム対策に関するシンポジウムを開催
- 平成17年11月 第2回WSISチュニス会合
- ・ スパム対策が、インターネットガバナンスと並んで主要議題となる予定

APEC（アジア太平洋経済協力）

- 平成16年 2月 電子商取引ステアリンググループ会合（ECSG）
- ・ スパムが主要議題となり、情報交換、各国対策の取りまとめ、他機関との連携推進を合意
- 9月 電気通信・情報ワーキンググループ会合（TEL）
- ・ セキュリティの一環として、スパム対策を議論

「国際的スパム執行協力に関するロンドン行動計画」

The London Action Plan on International Spam Enforcement Cooperation (LAP)

平成16年10月11日、ロンドンで開催された「スパム対策執行に関するワークショップ」(米FTC、英OFTの共催)において基本合意(15カ国、19機関)。

我が国からは、総務省、経済産業省、公正取引委員会が参加。

民間を含めた各機関相互の協調を促進すること等が目的。

最低年4回開催する電話会議を中心に対策を検討。

現在、LAPに基づき、「International Internet Sweep (国際インターネット浄化策)」を実施中。

- ・ 各国でモニター機によりスパムの内容等を調査。
- ・ 2005年3月までに各国分を取りまとめ、公表予定。

注：この他、ゾンビPCに関するプロジェクトを準備中。